

## 平成 26 年度 第 2 回 行財政構造改革審議会 議事概要

### 1 日 時

平成 27 年 2 月 10 日（火） 10:00～11:30

### 2 場 所

兵庫県公館 第 1 会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

五百旗頭会長、井堂委員、稲垣委員、齋藤委員、寺崎委員、藤浪委員、正木委員（7 名）

#### (2) 県

井戸知事、吉本副知事、金澤副知事、杉本防災監、富岡理事、常松会計管理者、平野知事公室長、五味企画県民部長、藤原政策部長、太田健康福祉部長、石井産業労働部長、藤原農政環境部長、梅谷環境部長、田中県土整備部長、大町まちづくり部長、荒木公営企業管理者、西村病院事業管理者、高井教育長、伊藤人事委員長、井上警察本部長（20 名）

### 4 議題及び議事要旨

#### (1) 「第 3 次行革プランの変更案について」

県当局から、平成 27 年度当初予算及び第 3 次行革プランの変更案について説明。  
委員からの主な意見は次のとおり。

##### (人材育成について)

- ・職員削減の中、県民サービスの低下を招くことのないよう、人材育成や業務の効率化を進められたい。
- ・人口減少社会を見据え、多様な人材の能力の活用が重要である。

##### (女性の活躍推進について)

- ・女性の登用が企業等でもなかなか進んでいない中、兵庫県が率先して、女性の活躍できる場づくりを推進されたい。
- ・女性職員の管理職登用の数値目標だけが一人歩きすることのないよう、職員の教育や意識啓発、仕事と生活が両立できる環境整備等を、計画的に進めてほしい。

##### (財政運営について)

- ・消費税増税の先送りによる社会保障財源への影響を懸念している。
- ・予算執行上の節減に向けた工夫改善を促すため、歳出節減額を翌年度予算で措置する予算節約インセンティブ制度の一層の活用を推進されたい。
- ・単年度会計の中にあっても、予算の繰越や基金等を活用して、複数年度にわたる事業の弾力的な推進を図る必要がある。

##### (地域の安全安心について)

- ・地域で子どもの安全安心を守るため、防犯カメラの設置支援等をさらに進められたい。

**(公社等の取組みについて)**

- ・兵庫県道路公社が管理する播但連絡道路について、交通安全対策の推進や快適な道路環境の確保に努められたい。

**(防災・減災の取組みについて)**

- ・阪神・淡路大震災の教訓の継承・発信に取り組む諸団体の活動を、これからも継続して支援されたい。
- ・人口減少、高齢化が著しい多自然地域における防災力の低下を懸念している。これまでも通信手段の整備支援など孤立集落対策等に力を注いできたが、引き続き、地域の防災力向上に向けた積極的な支援を推進されたい。

**(観光振興について)**

- ・播磨各地の祭りや神戸のジャズなど、地域の伝統的な文化や眠っている文化を掘り起こすとともに、城や寺院、温泉、産業施設、自然景観など各地の観光資源を有機的に結びつけながら内外に発信することで、誘客を促進されたい。

**(スポーツ施設等の整備について)**

- ・教育には家庭や学校だけでなく、地域の力も欠かせない。スポーツ施設や公園など、地域の大人たちが子どもたちと交流し、その成長に関わることができる場の整備をさらに進められたい。

**(2) 審議会意見案協議**

県当局から、審議会意見案について説明。委員からの主な意見は次のとおり。

**(震災の風化防止について)**

- ・これからも被災者の心の痛みを共有しながら、震災を風化させない取組みが必要である。

**(人材育成について)**

- ・地域課題の解決や新たな地域づくりに関心を持ち、取り組んでいる高校生も多いことから、引き続きそうした人材育成に取り組んでいただきたい。

**(職員の士気高揚について)**

- ・職員一人ひとりの能力が最大限に発揮されるよう、士気高揚につながる取組みを忘れることなく継続していかれたい。

- 今後のとりまとめについては、各委員の発言を審議会意見案に反映した上で、最終的なとりまとめは会長に一任することとした。